

※展示名称：突撃！いにしえのごはん

※会期：2025年9月20日（土）～11月24日（月・祝）

現代の私たちは、様々な「ごはん」を季節や場所にほぼ関係なく得ることができます。さらに、自分で調理をしなくても、飲食店や出前などで好きなものを選ぶこともできます。食生活は多様化しましたが、「食事」という行為は、生物が生存していく上で、必要なものであることに変わりはありません。

今回の展示では、「食・ごはん」をテーマに、神戸市内から見つかった弥生時代の考古資料を中心に紹介します。文字による記録がない時代の人々の「食」との関わりは、遺跡から発見される考古資料が手がかりとなります。狩猟・漁労で用いた「食を獲る」道具や、農耕で用いた「食を育てる」道具、そして「食をつくる・供える」道具から、どのように食材を確保し、何を食べていたのか…いにしえの人々の“ごはん事情”に突撃します。



伯母野山遺跡出土 飯蛸壺
弥生時代中期～後期 当館蔵

[出品資料]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	出土	材質技法	員数	時代
	石器（石鏃・石包丁・有溝石錘）	伯母野山遺跡	石製	9	弥生時代中期～後期
	飯蛸壺	伯母野山遺跡	粘土	7	弥生時代中期～後期
	平鍬（複製）	原品 長崎県 里田原遺跡	木製	1	弥生時代中期
	竪杵（複製）	原品 大阪府 東奈良遺跡	木製	1	弥生時代前期
	桜ヶ丘5号銅鐸（復元）	原品 灘区	青銅	1	弥生時代中期
	袈裟襷文銅鐸（複製）	原品 伝香川県	樹脂	1	弥生時代中期
	弥生土器	伯母野山遺跡	粘土	1	弥生時代中期～後期
	須恵器・土師器	観音山古墳	粘土	3	古墳時代